



令和5年度保健医療 ERU 研修



令和6年度カンボジア訪問



令和5年度青少年赤十字 (JRC) 国際交流事業



令和5年度保健医療 ERU 研修

日本赤十字社広島県支部版
きっと役に立つ！国際活動ハンドブック
令和7年5月第2版作成

もくじ

- 1 広島県内国際活動の歩み
 - (1) 要員登録人数（令和7年4月現在）
 - (2) 派遣実績（平成21年～令和6年4月現在）

- 2 どのような参加方法がある？
 - (1) 青少年赤十字（JRC）国際交流事業の通訳（令和5年度）
 - (2) 支部国際活動参加事業：東ティモール救急法普及事業（平成30年度、令和元年度）
 - (3) 病院 ERU 実証展開の視察（令和元年度）
 - (4) 広島県支部・カンボジア赤十字社ユース相互交流事業（令和6年度～）
 - (5) 国際活動体験ツアー（大阪赤十字病院）
 - (6) RAID CROSS（広島県支部）
 - (7) 国際要員として

- 3 研修実績（令和元年～令和7年4月現在）

- 4 国際要員紹介 -国際要員になるまでのみんなの道のり-
 - 看護師
 - コメディカル
 - 主事

- 5 コラム（要員になるまでに取り組んだこと／語学力のコツ）
 - 主事
 - 看護師

- 6 支部国際活動基礎研修
 - 令和3年度
 - 令和4年度

- 7 国際医療救援拠点病院について（勉強会情報）

- 8 国際活動でもっとクロスチーム

- 9 赤十字国際ニュース（メールマガジン）

- 10 最後に

- 11 お問い合わせ先

1 広島県内国際活動の歩み

(1) 要員登録人数（令和7年4月現在）

合計 7名

【内訳】

- ・医師 2名
- ・看護師 0名
- ・コメディカル（臨床工学技士、薬剤師） 1名
- ・主事 4名

(2) 派遣実績（平成21年～令和6年4月現在）

- ・インドネシア保健医療支援活動（看護師／2009）
- ・ジンバブエ・コレラ救援活動（主事／2009）
- ・ハイチ大地震災害救援活動（薬剤師・主事／2010）
- ・ハイチ大地震災害救援活動（主事／2011）
- ・北イラク・クルド地域戦傷外科実践研修（看護師／2013）
- ・ネパール地震救援活動基礎保健 ERU（主事／2015）
- ・バングラデシュ南部避難民救援活動基礎保健 ERU（主事／2017）
- ・パレスチナ赤新月社医療支援事業（看護師／2022）
- ・パレスチナ赤新月社医療支援事業（主事／2023）⇒中東情勢により派遣取り止め

2 どのような参加方法がある？

(1) 青少年赤十字 (JRC) 国際交流事業の通訳 (令和5年度)

本事業では、アジア地域の赤十字・赤新月社から青少年赤十字メンバーを招聘し、各都道府県支部で受け入れを行いました。広島県支部ではネパール赤十字社から3名の高校生を受け入れ、「持続可能な未来に向けた青少年赤十字活動」というテーマのもと、特に気候変動と平和教育について、共に学びを深めました。6日の受け入れ期間の中で、県内の国際活動に関心のある職員が通訳として参加しました。



(2) 支部国際活動参加事業：東ティモール救急法普及事業 (平成30年度、令和元年度)

※本事業は2021年度をもって終了

東ティモール赤十字社が主催する現地指導員対象の指導員研修に参加し、技術面及び指導方法、事業普及方策について助言することを目的として、赤十字救急法指導員資格を持つ職員が派遣されました。



(3) 病院 ERU 実証展開の視察 (令和元、6年度)

日赤の病院 ERU は、大規模災害時、機能不全に陥った地域の保健医療システムをサポートするために、2021年10月に整備されました。本視察時では、ERU 資機材を調達している段階でしたが、実際に展開を行い、各機能の検証及び課題抽出、次年度以降の整備資機材等の検証が行われ、支部職員計3名が視察に参加しました。



(4) 広島県支部・カンボジア赤十字社ユース相互交流事業（令和6年度～）

本事業は、当支部とカンボジア赤十字社との共同により異文化交流や各国のボランティア活動を通じて、参加者が国際的な視野をもって広く物事を見聞きし、課題発見能力や解決方法を見出す（考える）力を醸成することを目的としています。また、二国間の参加者同士の相互コミュニティを形成することで、持続的なボランティア活動とすることを目指しています。

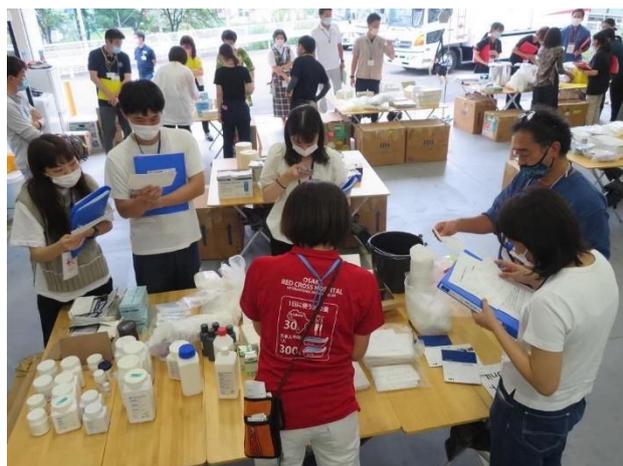
参加対象は、広島県内の高校生・大学生となりますので、職員は、事業スタッフとして携わることが可能です。詳細については、広島県支部事業推進課へお問い合わせください。



(5) 国際活動体験ツアー（大阪赤十字病院）

大阪赤十字病院では、将来国際活動を担う人材の育成を目的として、毎年全国の赤十字職員から国際活動に興味がある参加者を募集し、「国際活動体験ツアー」を開催しています。発災から出発準備、被災地での医療支援活動、撤収に至るまでの緊急救援シミュレーションを2日間で行い、実際に使う医薬品や無線機、テントなどの資機材にも触れながら、日赤の国際活動を体験していただくイベントです。（詳しくは、日赤国際要員ウェブサイトから！）

※県内職員参加実績：令和4年度1名（三原）、令和5年度2名（支部）、令和6年度1名（支部）





(6) RAID CROSS (広島県支部)

RAID CROSS とは、武力紛争時における人道上の問題について理解を深めるゲーム形式の教材を用い「戦争にもルールがある」ということ、そして人間の生命と尊厳を守る行動規範を身に付けることを目的としています。



(7) 国際要員として

日本赤十字社が国際要員を派遣する事業は、その実施主体から主に次の3つに分類されます。

- ① 日本赤十字社事業：現地赤十字社・赤新月社（姉妹社）と日本赤十字社が実施する二国間事業
-バングラデシュ南部避難民保健医療支援事業、パレスチナ赤新月社医療支援事業 他
- ② 国際赤十字・赤新月社連盟（連盟）事業：連盟が実施する災害対応などへの支援
-バングラデシュ ERU 派遣、ハイチ ERU 派遣 他
- ③ 赤十字国際委員会（ICRC）事業：ICRC が実施する紛争地における事業の支援
-ICRC 南スーダン紛争犠牲者救援事業、ICRC パキスタン紛争犠牲者救援事業 他

詳しくは、「国際要員になるための研修手引き」をご参照ください。

なお、要員の派遣については、国際要員ウェブサイトや各施設への通知、国際活動もっとクロスチームで随時、募集されます。

★研修プログラムについて★

国際活動に参加するための研修体系は、e-ラーニングからスタートします（図参照）。

登録研修は、日本赤十字社独自の事業や、国際赤十字・赤新月社連盟（連盟）及び赤十字国際委員会（ICRC）の事業での派遣を希望される方は「国際救援開発協力要員研修Ⅱ（IMPACT）」を、緊急対応での派遣を希望される方は「保健医療 ERU 研修」を受講していただきます。

なお、本研修は、全て英語で行われるため、その講義が十分理解でき、さらに英語で意見を述べる、質問をする、発表をする、意見交換をする等、積極的な参加姿勢を有していることが参加資格要件となります。また、原則社会人経験3年以上、英検準一級又は TOEIC730 点以上の英語力が求められます。



※登録前の研修として、必須 e ラーニングが9つあります！

詳しくは、「国際要員になるための研修手引き」をご参照ください。

3 研修実績（令和元年～）

- 平成31年度病院 ERU 実証展開：主事（広島）1名、主事（支部）1名、臨床工学技士（広島）1名
 - 令和2年度 IMPACT online：主事（支部）1名
 - 令和3年度保健医療 ERU 導入コース：主事（広島）1名、看護師（広島）1名、主事1名（支部）、主事1名（看護大）、主事1名（中四国 BBC）
 - 令和3年度保健医療 ERU 研修（病院 ERU オンライン研修）：臨床工学技士（広島）1名
 - 令和3年度 IMPACT online：主事（支部）1名
 - 令和4年度 PCM 研修：主事（支部）1名、主事（三原）1名
 - 令和4年度安全管理研修Ⅱ：主事（三原）1名
 - 令和5年度保健医療 ERU 研修：主事（血液センター）1名、主事（三原）1名
 - 令和5年度安全管理研修Ⅱ：主事（支部）2名、主事（三原）1名
 - 令和5年度 IMPACT：主事（支部）1名、主事（血液センター）1名
 - 令和6年度 PCM 研修：主事（支部）1名
 - 令和6年度 PFA 研修：主事（支部）2名
- ※研修受講時の在籍施設

4 国際要員紹介 -国際要員になるまでのみんなの道のり-

国際要員の先輩が、これまでにどのような研修を受講し、派遣経験を積み、要員として知識やスキルを身に付けてきたのかを簡単にご紹介します。

ぜひ、皆さんのロールモデルとなる先輩が見つかることを期待しています。

もし、興味が湧いて、先輩要員と個別に連絡を取りたい場合は、広島県支部事業推進課へお問い合わせください。

看護師	<p>平成17（2005）年入社。</p> <p>【研修受講歴】</p> <ul style="list-style-type: none">・平成23（2011）年度基礎保健 ERU 研修・2012, International Mobilization and Preparation for Action, Tokyo, JAPAN・平成24（2012）年度安全管理研修 II・平成24（2012）年度 PCM 研修・平成24（2012）年度災害外傷研修・2012, JPTEC provider course, Hiroshima, Japan・平成25（2013）年度熱帯医学研修・2014, Rapid Deployment Training, Tokyo, JAPAN・2014, Board Certified Nurse Administrator First Level of Japanese Nursing・平成27（2015）年度赤十字赤十字救急法救急員養成講習・2015, ICRC 27th Surgical Seminar on the Management of War Wounds・2016, DMORT in Kobe, Japan・2016, ACLS in Hiroshima AHA, Japan・2016, International Health Seminar in Wakayama, Japan・2016, NCPDR Basic course in Hiroshima, Japan・2016, NCPDR Advanced course in Hiroshima, Japan・2016, Southeast and Northeast Asia Session on international Humanitarian Law・2016, NST monitoring and medications in Hiroshima, Japan・2017, Perinatal loss; care for families who lost babies in Hiroshima, Japan・2017, Psychological First Aid for children in Tokyo, Japan・平成29（2017）年赤十字幼児安全法指導員養成講習・2019, CBRNE workshop in Tottori, Japan・2019, MCLS provider course・2020, EH (Hospital ERU) training course, online, Japan・令和4（2020）年度安全管理ワークショップ・2020, CBRNE training courses, online, Japan・2021, COVID-19 seminar in Aichi, online, Japan・2021, PFA (Psychological First Aid) in Tokyo, online, Japan・2021, H.E.L.P in Tokyo, online, Japan・令和3（2021）年度ヘルステクニカルトレーニング
-----	---

【派遣経験】（国際）

- ・平成25年度年度北イラク・クルド地域戦傷外科実践研修(Erbil: EMC hospital)
（活動内容）

Acquired practical knowledge and skills about War surgery treatment and nursing, working at EMC as a one of the team members.

*Worked as a ward nurse (Ward/ICU/OPD/OT)

- pre/post operative nursing
- Trauma care
- PSS

*Few experienced at OT.

- ・トルコ赤新月社での被ばく者の講演（平成28年）
（活動内容）

As a translator and medical personnel for speaker who was 84years old woman.

Arrange her speeches at some places with Turkish RC

- ・令和4年度パレスチナ赤新月社医療支援事業 Phase-2
（役割）シニアナース／チームリーダー（TL）
（活動内容）

As Team Leader (TL)

- Coordinate all activities between JRCS/PRCS.
- Support staff Nurse, Doctor, Project Assistant, Translator, Project Officer
- Security and Safety responsibility
- Manage all activities
- Manage schedule for team member (JRCS/PRCS)
- Manage accommodation
- Facilitation of Executive meeting
- Make proposal
- Encourage Executives
- Coordinate MCI Drill with counterpart
- Address problem solving
- Install monitoring system
- Install data collection and analysis system
- Monitoring activities and monitoring system, data collection and analysis
- Support Nursing Education System
- Support cloud system for education (online education system)
- Survey Quality Management for PRCS Hospitals

As Senior Nurse

- Implement On-the Job Training at department to improve quality of medical care
- Encourage Head Nurses, Doctors, Staff nurses of Hospital
- Medical care for patients with local hospital staff

-Implement Lectures and Trainings

-Monitoring system training

-Support Nursing Education

【派遣経験】（国内）

・東日本大震災救護班（石巻市／平成23年）

（役割）

This position is responsible for the following first response tasks (First Aid, gathering Information, Building Shelters, Round Shelters, Support Ishinomaki Red Cross Hospital) during initial phase of the earthquake relief operation as one of the first roll members.

Medical check-up for people who are evacuating from Namie town due to nuclear plant accident during the Japan Great East Earthquake and Tsunami Iwaki city, Fukushima, JAPAN

（活動内容）

Make an appointment and interview

Gathering Information

Make a list of them

Join their activities such as exercise classes, community gathering.

Inspection of affected area

・平成26年8月豪雨による広島市の土砂災害

（役割）

Head Nurse

（活動内容）

Round Shelters and treat affected people

・平成28年熊本地震災害（4月～5月）

（活動内容）

To help Kumamoto RC Hospital which was affected by the big Earthquake and was continuing to be accepting patients. Work at Brain Surgery ward to help nurses.

【ひとこと】

国際救援開発要員に興味を持っていただき、ありがとうございます。

赤十字活動に共感される方、海外で働いてみたい方、人道支援や緊急救援に携わりたい方、など様々とは思いますが、こうして日常の業務で得た知見や経験値を生かし幅広い仕事で世界中で出来る事は赤十字という大きな組織だからに他なりません。事業管理など職種不問の仕事もあります。大きな災害発生時に ERU という医療チームを日赤が派遣しますが、チームリーダーは国内のように医師とは限りません。検査技師、臨床工学技士、看護師、事務など経験豊富な人が職種関係なくリーダーとなります。もちろん、その分厳しい世界です。過酷な環境で働く事もあります。私はこうした機会を得て、人生が大きく変わりました。見えていた世界が全く変わりました。日本がいかに平和で幸せな環境か身をもって感じます。経験しなければ見えなかった世界、価値観。ハードルが高く感じるかもしれませんが、一歩踏み出してご自身の可能性を広げてみ

	<p>ませんか？</p> <p>「またいつか Field で！」現地を去る時に同僚とお互い言い合う言葉です。皆さんといつか Field でお会いできる事を楽しみにしています。</p>
看護師	<p>平成31年4月入社。(他県赤十字病院所属)</p> <p>【研修受講歴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度大阪赤十字病院国際活動体験ツアー ・令和5年度保健医療 ERU 研修 <p>【派遣経験】</p> <p>なし</p> <p>【ひとこと】</p> <p>要員を目指す道のりの中で困難なこともあると思いますが、一緒に戦える仲間が増えると、世界がちょっとでも平和になるんじゃないかと思います。</p>
コメディカル	<p>平成19年入社。</p> <p>【研修受講歴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度大阪赤十字病院国際活動体験ツアー ・平成29年度基礎保健 ERU 研修 ・平成29年度危機管理研修 II ・平成30年度熱帯医学研修 ・平成30年度 ERU 技術要員専門研修 ・平成31年度病院 ERU 実証展開 ・令和3年度保健医療 ERU 研修 (病院 ERU オンライン研修) ・令和4年度ヘルスログ基礎研修 <p>【派遣経験】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災救護班主事 (石巻市/平成23年) <p>【ひとこと】</p> <p>日赤の派遣形態が”病院 ERU”となりコメディカルの役割も拡大しています。自分の強みを活かした活動ができると思います。ぜひチャレンジしてください！</p>
主事	<p>平成31年入社。</p> <p>【研修受講歴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度病院 ERU 実証展開 ・令和3年度 IMPACT online ・令和4年度 PCM 研修 ・令和4年度安全管理研修 II ・令和5年度保健医療 ERU 研修 <p>【派遣経験】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度 JRC 国際交流事業通訳 ・令和5年度パレスチナ赤新月社医療支援事業 (中東情勢により取り止め) ・令和6年能登半島地震災害救護班主事 (七尾市) <p>【ひとこと】</p> <p>国際活動に興味を持つ仲間が増えたら嬉しいです。一緒に頑張りましょう。</p>

5 コラム（要員になるまでに取り組んだこと／語学力のコツ）

要員を志す皆さまへ、2名の先輩要員（主事・看護師）から力強いメッセージが届きました。必読です！

1 国際要員になるまでに取り組んだこと

参考になるかわかりませんが、私が国際要員になるまでに取り組んだことをご紹介します。
時系列でいくとだいたいこんな感じです。

H18.4 日赤入社

三原赤十字病院配属

H25.4 広島県支部へ異動

H26.1 ERU 管理要員・技術要員研修（名二） 視察

H30.2 ネパール防災事業でネパールへ出張

H30.10 東ティモール救急法普及支援事業で東ティモールへ出張

R2.1～10 TOEIC の勉強を始める

R3.2 国際救援・開発協力要員Ⅱ研修（IMPACT）受講

国際要員として登録

こうして眺めると、様々な活動を通じて、徐々に国際要員を目指す気持ちが強くなったことがわかります。（動機付けは大事ですね！）

英語の勉強を始めたのは、国際要員になる1年前ぐらいからでしょうか。私はルーチンに落とし込む派なので（何の派閥かはわかりませんが）、毎朝出社前に、筋トレ後、30分程度勉強していました。1時間以上は集中力がもたないので、集中力とモチベーションが続く30分程度としていました。

これまで、国際要員を志すも挫折する方を多く見てきましたが、本社も色々ハードルを設定していますし、辿り着くまでのモチベーション維持が難しいのだと思います。

道のりが長く感じると、「目の前の業務が、、、」とか、「施設の許可が、、、」といった逃げる理由を作りがちですが、本当にそうなのでしょうか？これまで国際要員となった方々のうち、私なりに見つけた共通点は、「あきらめない」。非常にシンプルな思考です。結局のところ、気持ちが行動を起こし、行動が結果を呼ぶのだと思います。

だんだん、何のコーナーか分からなくなってきましたが、TOEIC のスコアで不安な方は、次の内容を読んでみてください。また、物事を継続するには、共通目標をもった仲間がいると心強いですよね。（グループエンカウンター）

広島県支部では、国際要員はもちろん、国際要員を志す方々を繋ぐ取り組みをしています。お気軽に広島県支部総務課までお問合せください。もちろん、こちらからみなさまの職場を訪問することやそれ以外でも時間を作ることが可能です。

従来総務課は常に施設内に居て、守るイメージが強かったかもしれませんが、今年度からの広島県支部総務課は「会いに行く総務課」へと徐々にイメチェンを図ろうとしています。

はい、また脱線してきたのでこのへんで。ほんじゃ。

2 TOEIC L&R リスニング点数アップのコツ

国際要員を目指すみなさまの一助となるよう、万年英語ビギナーの私に取り組んだ中から、「ひょっとして、これは使えるのでは？」といった情報をご紹介します。

この内容は、英語力が一定程度ある方には向いてないと思われます。むしろ、邪魔になる情報かもしれませんが、どちらかというスコアが伸び悩んでいる方、向けです。

TOEIC L&R テストでは、リスニングとリーディングのうち、リスニングの方がスコアを伸ばしやすいと言われていています。(理由として、リーディングと違い、時間が確保された中で試験が実施される等々)とはいえ、なかなか目標とするスコアを突破できない方が多いのも事実。おそらく、リスニングスコアが伸び悩んでいる方の共通の悩みとしては、次のようなことがあるのではないのでしょうか。

- ①聞いた内容を解答するころには、忘れてしまう。
- ②なんとなくしゃべっている内容はわかるが、適切な解答を選べない。
- ③そもそも何しゃべっているかわからない。

①や②についての私なりの解答テクはこんな感じです。

【解答テク】

冒頭のイントロの時間で、まずパート1から4までの写真から選択肢をざっと見る。
その上で、

パート1：人物がいる場合はその人物周辺が、人物がいない場合は、写真中央付近の様子が読み上げられることが多いので、その選択肢を選ぶ。(イントロ時に事前に写真を見ておくことである程度問われる内容が予想できます。)

パート2：最初の数ワードをしっかりと聞いてください。5W1Hの問いなのか、そうでないのか。

パート3、4：スピーカーが話している間、選択肢をじっと見て、選択肢にある単語が聞こえたら、それが解答となることが多いです。質問の種類等で当たらないこともありますが、割と当たります。

※この解答テクのおかげか分かりませんが、私の場合、リスニングスコアが1～2ヵ月で100近く伸びました。(たまたまかもしれませんが)

問題は③。③の場合、前提として、知っている単語やそもそも英語に触れる機会が少ないと思われるので、次のこと実践してみてください。

- ・TOEIC 向け単語帳を一冊覚える。
- ・毎日英語の音声を聞き、シャドーイングしてみる。(素材はオンライン英会話、YouTube、NHK ラジオ等々なんでもいいと思います。)

さいごに、私なりに TOEIC 対策をして分かったことは、スコアが伸び始めるのには、

- ・一定程度の期間を要すること
- ・ある時期を境に、スコアが急上昇すること

ですので、一度や二度受験しただけで諦めずに「継続は力なり」で取り組んでみてはどうでしょうか。

信じるか信じないかは、あなた次第です！ほんじゃ。

1 要員になるまでに取り組んだこと

- 1年目 仕事を覚えることで精いっぱいでした。国際救援志望であることを、師長さん、係長さん、国際救援の先輩看護師に伝えて回り、ひたすらアピールしました。そして、国際医療救援拠点病院（※）で月1回開催される勉強会に参加しました。 ※P16参照
- 2年目 2年目は看護教育の一環で課題やレポートも多く、これまた業務で手一杯でした。オンラインでの英語研修も考えましたが、断念し、自力で TOEIC 学習に臨みました。
- 3年目 TOEIC 目標点クリアし、要員登録必須研修に向けた e-learning を開始しました。
- 4年目 大阪赤十字病院が主催の国際活動体験ツアーに参加し、ERU での派遣イメージを膨らませることができました。
- 5年目 保健医療 ERU 研修参加し、要員登録されました。

要員になるまでの経過は上記のような感じです。国際救援経験のある先輩から、「今やっていることすべてのことが、国際救援で活かされるから」と助言を受け、1年目から今でも自分が毎日実践している看護や、業務に取り組んでいます。一見その業務が何のためになるの、と思う時も多々ありますし、業務に追われて、国際救援やりたいと思っていたけど気が向かないことや、本当に国際やりたかったっけと悩むこともあります。すぐに国際救援要員として派遣されるわけではなく、長い道のりだからこそモチベーションを維持することも大切です。私は、保健医療 ERU 研修で出会った研修生や院内の先輩方が支えとなっていて、今の置かれている環境で、経験と知識を蓄え、派遣に向けて頑張ろうと思っています。

2 語学力のコツ

帰国子女や留学経験者が多くいる中で、私は、国際救援がやりたいという思いだけで英語学習に取り組んできました。英語力に関しては、毎日英単語を聞いたり、YouTube をみて TOEIC 攻略法を学んだり、海外の動画やドラマを見たり、日常に触れるものを英語に変えたりと、机上以外でできる方法で英語に触れるようにして、目や耳が英語好きになれるようにしました。そして、英語勉強をする時間を確保するようにしました。私は朝型なので、早起きして英語の勉強、仕事から帰宅後は看護の勉強、というようにメリハリをつけて勉強するようにしました。

また現在は、経験年数 3 年目以上になれば、日本赤十字愛知医療センター名古屋第二赤十字病院で開催されている英語研修という 2 か月の語学研修に参加することも可能です。自部署の理解が必要にはなりますが、こうした研修を活用するのも一つの手かと思います。

以上

6 支部国際活動基礎研修

国際活動への理解を深め、職員の意欲の維持・向上を図ることで、国際活動に携わる職員を増やし、将来における国際活動の推進につなぐために、開催されました。

以下の二次元バーコードから研修の様子をご覧ください。

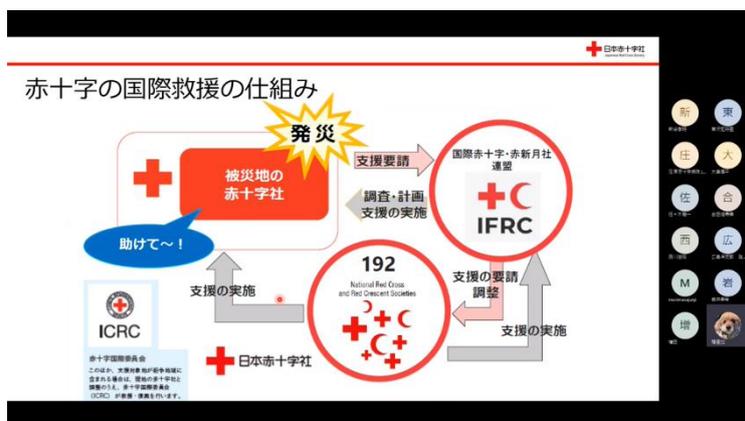
【令和3年度】

(1) 開催研修動画

※名称：「国際活動基礎研修会 12/14」と表示

★研修内容★

- ・ 赤十字の国際救援活動（発表者：主事） ・ 研修について（発表者：主事）
- ・ 派遣のしくみ（発表者：看護師） ・ 情報収集ツール、拠点病院について（発表者：主事）



【研修会の様子】

(2) 研修当日に放映した国際救援・開発協力要員の事前インタビュー動画の完全版。

（研修当日は、30分に編集して放映）

※名称：「国際活動基礎研修会先輩要員インタビュー（フル）」と表示



【インタビューの様子】

【令和4年度】

※名称：「令和4年度 日本赤十字社広島県支部国際活動基礎研修会」と表示

★研修内容★

- ・ 赤十字の国際救援活動（発表者：主事） ・ 過去のモニタリング派遣から（発表者：主事）
- ・ 国際活動体験ツアー参加フィードバック（発表者：看護師）
- ・ PCM 手法研修参加フィードバック（発表者：主事）
- ・ レバノンでの活動について（発表者：看護師）



【研修会の様子（過去のモニタリング派遣から）】

7 国際医療救援拠点病院について（勉強会情報）

日本赤十字社は赤十字病院をはじめとし、全国の赤十字施設から国際要員の海外派遣を行っています。こうした国際医療救援活動での知見や経験を蓄積しながら国際要員を育成していくために、5つの赤十字病院が「国際医療救援拠点病院」として、研修や勉強会の開催や、研究活動、情報発信を行っています。

ぜひ、本社の国際要員ウェブサイトから各施設の情報をご覧ください。

各施設の SNS もぜひフォローしてみてください♪

国際医療救援拠点病院一覧

-日本赤十字社医療センター（東京）

★勉強会情報「シェアの会」（オンライン）毎月第4木曜日の午後6時30分から

-日本赤十字愛知医療センター名古屋第二病院

★月例研修会（オンライン）

-大阪赤十字病院

★勉強会情報「オンライン勉強会」毎月第2金曜日の午後6時00分から

-日本赤十字社和歌山医療センター

-熊本赤十字病院

The screenshot shows the 'International Medical Relief Website' with a navigation menu at the top: トップページ, お知らせ, 派遣情報, 研修情報, 拠点病院, 資料集. The main content area displays a list of events in a grid format. The first event is 'シェアの会 (3月) : 災害支援に携わる支援者のこころの動き〜カンタベリー地震と東日本大震災の経験を基に〜' on 2024年3月28日 (木) 18時30分〜20時00分 at Zoom. The second event is '月例研修会 (3/1) 『災害・紛争・難民と関わった30年〜道を踏み外した医者の寝言でも聞いてください〜』のご案内 (日赤名古屋第二病院 国際医療救援部)' on 2024年3月1日 (金) 17:45〜18:45 at オンライン開催 (Zoom). The third event is '月例研修会 (1/17) 『バングラデシュ南部避難民キャンプでの心理社会的支援について』のご案内 (日赤名古屋第二病院 国際医療救援部)' on 2024年1月17日 (水) 17:30〜18:15 at オンライン開催 (Zoom). The fourth event is 'シェアの会 (1月・オンライン) : 赤十字における現地化 (ローカライゼーション)' on 2024年1月25日 (木) 18:30〜20:00 at オンライン (ZOOM). A pagination bar at the bottom shows page 1 of 22, and a red arrow button is in the bottom right corner.

【勉強会の情報は国際要員ウェブサイトにも掲載されます】

8 国際活動でもっとクロスチーム

本社及び各支部、施設の国際活動に関心のある職員が、国際活動の情報や知見をより迅速かつ効率的に共有し、相互に学びを深め、コミュニケーションを図るためのツールとして誕生しました。

派遣の帰国報告会や研修情報、現地の日赤職員からの情報発信…などなど、国際活動に関する全ての情報がこちらで共有されると言っても過言ではありません。

大変ホット！な耳より情報が入手できますので、ぜひご登録ください。

本チームへの登録は、指定の forms から行います。登録の窓口は各施設によりますが、社会課や総務課が担当になりますので、お問い合わせしてみてください。

投稿 ファイル メモ

写真では分かりにくいのですが、絵画に描かれているのは、左から蜷川新（日赤）、アーサー・スタンレー（イギリス赤）、ハンリー・テイヒソン（アメリカ赤）、ジュゼッパ・フラスカラ（イタリア赤）、ジャン・ドゥ・ケルゴレイ（フランス赤）です。
[詳細を表示](#)

返信

竹H 竹下 葉月 TAKESHITA Hazuki 木曜日 14:33

【報告会のご案内】4月26日（金）トルコ・シリア地震救援 国際赤十字・赤新月社連盟派遣要員帰国報告会

国際活動でもっとクロスチームのみなさま、

2023年2月6日に発生したトルコ・シリア地震は、両国合わせて6万人近くの犠牲者や数百万の避難者など甚大な爪痕を残し、シリアで2011年から続く紛争を生き延びてきた人々の状況もさらに悪化させました。2024年にシリア国内で人道支援を必要とする人の数は過去最高の1,670万人に上ります。

この度、国際赤十字・赤新月社連盟（連盟）シリア事務所の保健医療コーディネーターとして1年間にわたって活動された姫路赤十字病院の高原美貴看護副部長の帰国に伴い、帰国報告会を開催します。

過去の海外派遣経験も豊富な高原看護師の報告を通して、常態化する人道危機のただ中にあるシリアの人びとに出会ってください。

[詳細を表示](#)



👍 5 🌸 3 ❤️ 1

返信

投稿を開始する

9 赤十字国際ニュース（メールマガジン）

「赤十字国際ニュース」では、赤十字が世界中で行っている人道支援活動の最前線と、それをとりまく最新ニュースが届きます。メールマガジンに登録すると、毎週水曜日に発行されるニュースや、臨時速報をメールで受け取ることができます。登録は、以下の二次元バーコードもしくは、「日赤 メールマガ」で検索してみてください♪（登録は1分ほどで完了します。）



登録することで赤十字の国際活動に関するニュースを**毎週＋速報**を受信できます。

10 最後に

現在、広島県内の国際要員数は決して多くなく、国際活動を活発に行っているとは言えません。ですが、逆を言えば、これから国際活動を目指す人たちが、広島県内の国際活動を盛り上げ、引っ張っていくチャンスがあるということです。「本当は国際活動に携わりたいけど、どうしていいかわからない」という気持ちを抱いている職員もいるかもしれません。そういった潜在する職員の思いを拾い上げ、国際要員への道をサポートするため、広島県支部では、今後、積極的に広報活動や研修会を開催していきます。

ぜひ、一緒に活動してみませんか。世界中で苦しんでいる人々を救う担い手となる仲間をお待ちしています。

11 お問い合わせ先

日本赤十字広島県支部 事業推進課
TEL 082-241-8811（代表）
E-mail jigyoh@hiroshima.jrc.or.jp